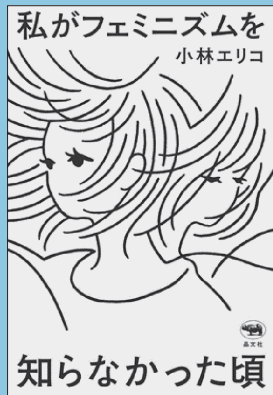




私がフェミニズムを知らなかった頃

著者：小林 エリコ

殴る父と耐える母、ハラスメントの横行、エロ情報の氾濫、あからさまな賃金格差、性犯罪におびえなければならない日常……。かつて1ミリも疑ったことがなかった「男女平等」は、すべてまちがだったのか？もう黙ることはしない。体当たりでつかんだフェミニズムの物語。



どうしても頑張れない人たち ケーキの切れない非行少年たち2

著者：宮口 幸治



「頑張る人を応援します」。世間ではそんなメッセージがよく流されるが、実は「どうしても頑張れない人たち」が一定数存在していることは、あまり知られていない。彼らはサボっているわけではない。頑張れないがゆえに、切実に支援を必要としているのだ。

ふつうに生きるって何？ 小学生の僕が考えたみんなの幸せ

著者：井手 英策



母子家庭で育った著者の実体験に基づいた物語。小学5年生の主人公・愉太郎が、日々の暮らしの中でさまざまな疑問と出会い、悩み、生きづらい社会の中で、お互いに支え合うことの大切さに気づいていく過程が描かれています。

マンガでわかる！気分よく・ススイ・いい方向へ「自分を動かす」技術

著者：ゆうき ゆう

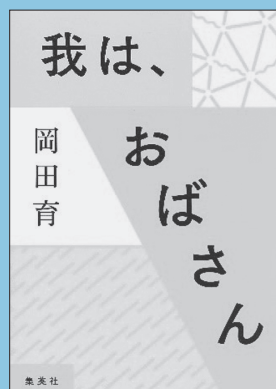


怒ってはいけなさと分かっているのに怒ってしまう。いつも上機嫌でいたいのに、イライラしてしまう。勉強や仕事をしたくてもサボってしまう。新しいことに挑戦したいのに、一步を踏み出せない。わかってはいるけど、「動けない」「やめられない」「続けられない」あなたへ！

私は、おばさん

著者：岡田 育

『更級日記』から『マッドマックス 怒りのデス・ロード』まで、古今東西の文学・エンタメ作品をひもとき、ポジティブに「おばさん」を再定義する、カルチャー・エッセイ。ジェーン・スーさんとの特別対談も収録！



大丈夫じゃないのに、大丈夫なふりをした

著者：クルベウ



痛くても痛くないふり。つらくてもつらくないふり。転んだとき、心によりどころのない人ほど、大丈夫なふりをしてしまう。愛と別れ、自尊心、幸福、自由、孤独、夢、人間関係。誰が読んでも共感できる、語りかけるような文章が疲れた心を癒してくれる一冊です。